土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

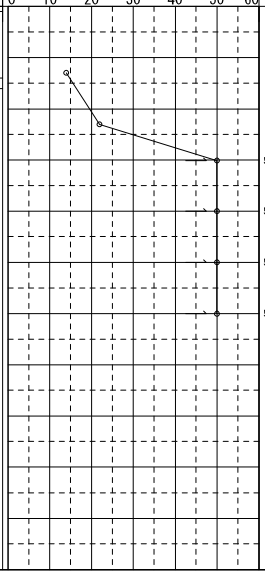
調査名	その他河川 天地川 外 砂防激甚災害対策特別緊急事業に係る業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	

ボーリング名	Bor-1	調査位置	広島県安芸郡坂町小屋浦	北緯	34° 18' 29.3842"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和元年12月11日～ 令和元年12月12日	東経	132° 31' 04.8434"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 83.06m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	6.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D-0 / エンジン：ヤンマーNFD13 / ポンプ：東邦BG-3B

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1 2 3	79.76	3.30		転石混り礫質土		褐	rd3		長さ4～15cmの礫片や転石が混在する。礫・転石の基質は花崗岩。礫・転石間は、細～粗粒の砂・砂質土で、φ5～30mmの角礫・亜角礫が混じる。	12/12 1.40
4 5 6	77.06	6.00		花崗岩		淡褐灰			中硬岩相当の花崗岩。長さ3～32cmの岩片～柱状。岩質は概ね中硬岩。ハンマーの打診で濁音～金属音を発する。全体に水平方向の割れ目が発達するものの、深度3.70～4.00m間の岩質はやや軟質。傾斜80度の割れ目を挟む。	
7 8 9 10 11										

標準貫入試験

深度—N値図



N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
14	1.15	4	5	5	14/300		
	1.45						
22	2.15	9	6	7	22/300		
	2.45						
50以上	3.00	50			50/20	20	
	3.02	20					
50以上	4.00	貫入不能			50/0	0	
50以上	5.00	貫入不能			50/0	0	
50以上	6.00	貫入不能			50/0	0	

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1.15	P-1	⊖		12/11
1.45				
2.15	P-2	⊖		
2.45				
3.00	P-3	⊖		
3.02				
				12/12